



小金井市議会議員

片山かおるの ちょっとカエル通信



おとな子どももいっしょに育つ町にしよう

学童保育所は 子どもの大事な居場所



12月 議会日程

- 11/30(月)~12/1(火) 本会議
- 12/2(水)~4(金)7(月) 本会議(一般質問)
 - 9(水) 厚生文教委員会
 - 10(木) 建設環境委員会
 - 11(金) 総務企画委員会
 - 14(月) 予算特別委員会
 - 15(火) ごみ処理施設建設等調査特別委員会
 - 16(水) 駅周辺整備調査特別委員会
 - 17(木) 庁舎建設等調査特別委員会
 - 18(金) 行財政改革調査特別委員会
 - 24(木) 本会議

12月議会の議案

- ◇二枚橋衛生組合の解散と財産処分についての議案が出ています。
- ◇障がい者、高齢者など福祉関係で増額される予算がたくさんあることが目立ちました。申請者が増えているとのこと。
- ◇児童手当の延べ数も増え、保育関連経費も増えています。生活が苦しい人が増えてきているのではないかと心配です。
- ◇一時、接種が落ち込んだ日本脳炎の接種数が新しいワクチンになってから増えているとのこと。闇雲にワクチン接種するのではなく、副作用副反応の危険もきちんと把握した上での対応が必要です。
- ◇武蔵小金井駅北口の駐輪場が来年3月で撤去されてしまいます。使用不可となる1500台分を分散して、いくつかの駐輪場を作る予算も提示されています。

片山かおるの一般質問

(12/4 (金) 午後1時30分ころ)

1. これからどのような学童保育所を目指そうとしているのか

- 1) 第三次行革大綱素案にある民間委託化について
- 2) 大規模化している学童保育所への対応について

■第二次行革大綱から引き続けている学童保育所の民間委託問題。しかし、具体的にどんな学童保育所を目指して民間委託しようとしているのか、ビジョンがまったく見えません。一小にある、さくらなみ学童保育所は、来年の入所希望者数がいきよに90人以上になる予定。今より約20人増となります。いったいどうやって対処するのか。親の不安が募っています。

不況や社会不安、育児不安などを抱え、学童保育を希望する親や子どもがどんどん増えています。いくつかの学童を二つにわけると条例が9月議会で通りましたが、指導員の人数は果たして増えるのか、とても疑問。

異年齢の子どもたちが共に育っていく『子どもたちの大事な居場所』であり、親のつながりも深まる子育て支援の場として、どんな学童を目指していくのか、今真剣に考える時です。



2. 「子どもの権利に関する条例」を市民といっしょに広めていこう

- 1) 市民と協同してパンフレットを作成しないか
- 2) 今後どのようにして、おとなや子どもの心に響く広報をしていくのか

■市は作業チームを作ってパンフレット作りを進めているようです。しかしどんな解説文にするのか、どんなイメージで作成するのか。子どもの権利の概念についてはさまざまな議論がかわされてきたところ。市民参加で作ってきた条例ですから、広報も市民参加で進めるべきではないでしょうか。

●行政視察の報告

10/29.30は、厚生文教委員会の視察で、大阪府池田市の障がい児の療育施設と、兵庫県川西市に子どもの人権オンブズパーソンについて。川西市のオンブズパーソン事務局の方の講演を、権利条例策定委員会で聞いたのが5年前。子どもの相談と救済の要となる、オンブズパーソンの設置条項が小金井の子どもの権利条例からははずされてしまいました。行政視察で担当課とともに現場で話を聞いたということに、これまでの活動を思い起こして、ようやくここまで来たと思無量。すべてこれからなんだ、とつくづく感じました。

11/19、20は、ごみ処理施設建設等調査特別委員会で、奈良県橿原市の焼却施設建設までの市民への説明の状況と、滋賀県甲賀市の生ごみ処理システムの視察。

橿原市は、もろに古墳の中にある処理場です。小金井のようなごみ分別がほとんどなし。様々なものが巨大な炉で燃やされています。しかし、近隣500m圏内の自治会の住民に対しての説明会を5年間に130回も開いたとのこと。小金井とは大違い。その結果、リサイクル、し尿処理施設を市の反対側に作ることによって、ごみ処理を分散する、ということでもまとまったようです。

処理方法については疑問が残りますが、なにをするにしても住民との密な相談が必要だと思いました。

甲賀市の生ごみ処理は種堆肥を配る方式。堆肥の販売・処理ルートを考えなくていい、堆肥化方式です。これはかなりおもしろいやり方でした。しかも種堆肥をまぜて保管しておく生ごみからはほとんど臭いがしません。行政からも他の議員からも「やっぱり生ごみから分別収集処理をなんとか始めなくちゃ」という声が出てきつつあります。

●図書館民間委託問題

図書館の民間委託による非常勤職員の解雇問題は、労使交渉も継続中です。

非常勤のみなさんは、市民サービスも充実できる運営方法の対案も示しながら、小金井の図書館がどのような形であってほしいのかを訴えています。

諮問機関である図書館協議会も新しい期がはじまって、民間委託に疑問を投げかけた7月の答申内容を再確認したそうです。12/9の厚生文教委員会では、継続された図書館関係の陳情が審議されます。注目してください。

片山かおるプロフィール

1966年生れ。2009年4月より市議会議員。厚生文教委員、ごみ処理施設建設等調査特別委員、湖南衛生組合議会議員、国民健康保険運営協議会委員、都市計画審議会委員、議会報編集委員。小5と中2の男の子とパートナーと猫と共に前原町に暮らす。8ミリ・実験映画・ドキュメンタリーを制作上映。子育て支援ネットワーク、保育室の存続運動、子どもの権利条例の制定、教育問題、武蔵野はらっぱ祭りの復活などに関わる。

●片山かおるは「片山かおるといっしょにかえる小金井の会」および、漢人あきこと共に「市民自治こがねい」といっしょに活動しています。誰でも参加できる市民の集まりです。

●議会では「みどり・市民ネット」という従来の枠にとらわれない新しい会派に参加しています。市民参加と情報公開による市民本位の市政の実現のために、市民にわかりやすく開かれた議会をめざします。

●閉会中の委員会や組合議会など



11/16に湖南衛生組合があり決算審議をしました。今後、解散をにらんでいかななくてはならない施設です。

11/18の行財政改革調査特別委員会では、民営化ではなく、公立保育園の役割についての業務見直しをするべきではないかと質問しました。また、行革大綱に市民協働支援センターについての言及がないことも質問。

10/23には都市計画審議会、11/26には国民健康保険運営協議会がありました。

府中の衛生研問題は？

「衛生研問題を考える会」では、10/22に省庁と国会議員に対して、衛生研の府中市への移転に関する来年度予算の凍結を求める要望書を提出し、その後、民主党にも要望書を提出。

事業仕分けの対象に、この移転問題が加えられることを切望し、同時に移転予定地北側の公務員住宅建設についても中止となるようにと願っているとのこと。

年明け早々から、署名活動をスタートするそうです。署名集めにどうぞご協力ください！

「衛生研問題を考える会」

一ノ瀬清美 / 090-5764-8713

ketmi-peace@docomo.ne.jp

☆お知らせ☆

★小金井アートフル・アクション!光とフィルムの映像表現ワークショップ Part3 『映画フィルムの魅力、発見・再見! ~上映会&シンポジウム~』

日時：12月6日(日) 12:00 ~ 20:00

会場：小金井市公民館 本館4F 視聴覚室 (片山作品も出品予定)

主催：8mmFILM小金井街道プロジェクト / 小金井アートフル・アクション!実行委員会

★12/12(土)『12・12ストップ温暖化 三多摩アクション』井の頭公園から代々木公園まで13キロの「LONG LONG エコ・ウォーク」参加者募集中。

問合せ：042-348-1127

★のびゆく子どもプラン推進市民会議

日時：12月15日(火) 18:30 ~

会場：小金井市役所



◇片山かおるといっしょにかえる小金井の会◇
小金井市中町3-10-103 TEL&FAX:042-316-1511
http://katayamakaoru.net/ office@katayamakaoru.net

◇みどり・市民ネット会派ニュース◇
小金井市議会 みどり・市民ネット
小金井市本町6-6-3 TEL:042-383-1111